

# モジャコ分布調査

平成29年4月24日 水産技術開発センター

モジャコ(ブリ稚魚)は流れ藻<sup>ながれも</sup>とともに、春季、本県海域に来遊します。ブリの養殖用種苗となるモジャコは、ブリ養殖日本一の本県養殖業にとって大変重要です。

水産技術開発センターでは、モジャコ漁業の効率的かつ円滑な操業に役立っているため、毎年3月上旬と4月上旬に漁業指導取締兼調査船『おおすみ』によりモジャコ分布調査を行い、海面水温や潮流、流れ藻の分布、モジャコの付着量やサイズ等を把握し、随時漁業関係者へ速報を提供しています。

今年は3月と4月に3回の調査を実施し、結果は以下のとおりでした。

## <3月調査>3/3~12

流れ藻の分布： 昨年同期より少ない、平年同期より多い

モジャコの付着： 昨年同期・平年同期より少ない

モジャコのサイズ： 昨年同期・平年同期より大型

## <3月臨時調査>3/21~24

流れ藻の分布： 10マイルあたり883.9個

モジャコの付着： 流れ藻1kgあたり0.3尾

モジャコのサイズ： 平均全長60.7mm

## <4月調査>4/5~10

流れ藻の分布： 昨年同期・平年同期より多い

モジャコの付着： 昨年同期・平年同期より少ない

モジャコのサイズ： 昨年同期・平年同期より大型

※詳細は当センターホームページの<漁海況情報>の“モジャコ情報”に記載



<流れ藻の採集>



<流れ藻の計量>



<モジャコの計測>